二中通信

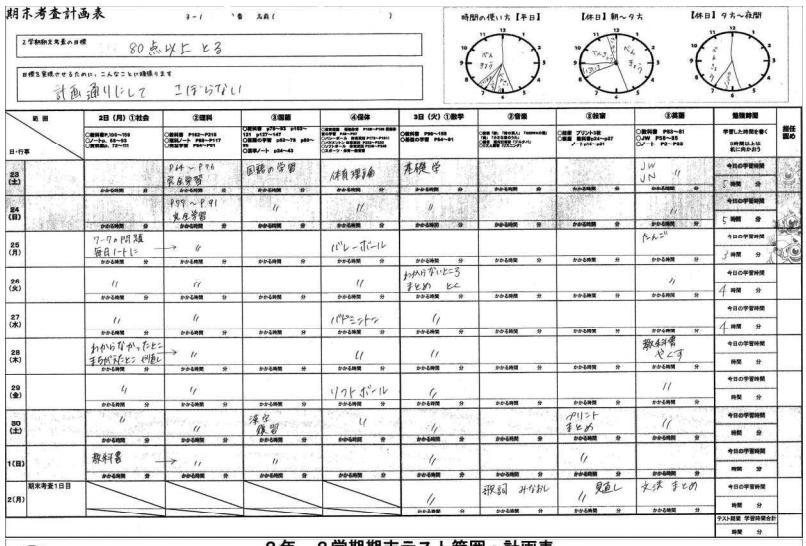
校訓
自主 協力 責任

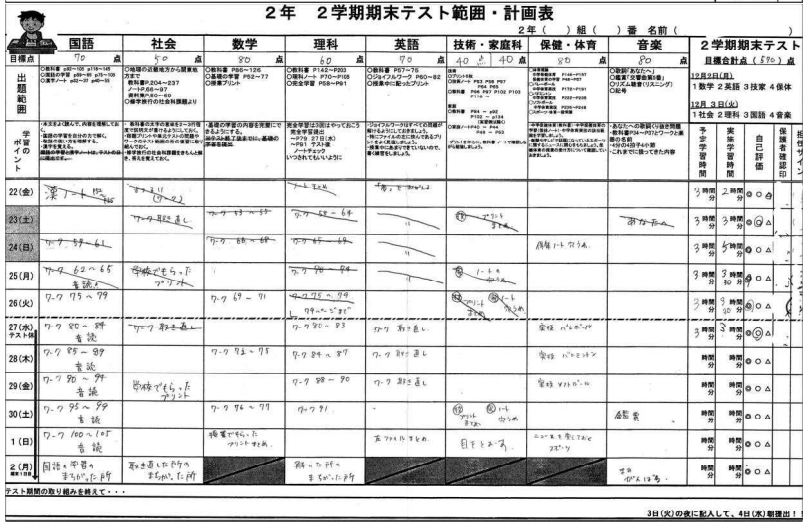
津久見市立第二中学校
学校通信　第４５号
令和１年１１月２９日（金）
文責　校長 阿部 宰士

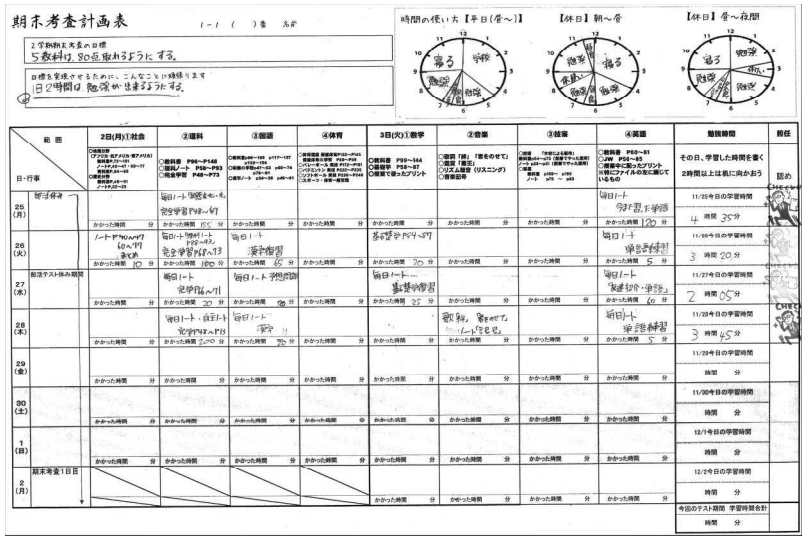
～　大事な２学期末テストに向けて、二中生は全力で立ち向かうことができているか　～

自分は、正直に言って勉強することが苦手だ。
「勉強をしなければ」という気持ちにはなるけれど、いざ机に向かっても、教科書や問題になかなか集中できず、つい別のことに手を出して遊んでしまう自分がいた。
ある日面談で、「今のままでは、志望している高校への進学は難しい」と言われた。志望校に行けないのは絶対にいやだった。のんきにしている場合じゃないことにやっと気づいた。集中できるできないとか言っている場合じゃなかった。ただひたすらに教科書を読み、ノートに書き写し、問題を解きまくった。
今でも苦手なのは勉強。でも頑張ること、頑張れる自分のことは少し好きになってきた。

☆頑張っている仲間のテスト勉強の記録☆







☆頑張っている仲間のテスト勉強のやり方☆

自分は、まず教科書のテスト範囲の部分を熟読します。その後、授業ノートを見ながら大事な部分を確認して、別のノートに書きながら覚えていきます。このノートは、テスト直前の見直しにも使えるので、特に大事な部分は色ペンやマーカーを使って分かりやすく書いていきます。
そして、最後にワークなどの問題にあたって、どれだけ分かっているかを確認していきます。

まず、授業のノートを見ながら復習をして、大事だと思ったところを毎日ノートなどに書きこんで覚えます。その次に、ワークや問題集の問題を解いていきます。何度も何度も問題を解いていくことで、はじめの頃にできなかった問題も少しずつ分かってきて解けるようになります。
どうしても分からないところは「新研究」で確認したりします。

自分は社会体育をしているため、夜遅くまでは頑張れないので、朝５時に起きてやる勉強が中心です。
まずは、絶対に覚えておきたい単語、漢字、重要語句などを、何度も書いて覚えます。次にワークなどの問題を解いていきます。問題は何度も解き直しをします。解き直し用のノートを作って何度もやります。

どの教科も、最初に教科書を丁寧に読んで、重要な部分などを確認していきます。その後、できるだけ多くの問題にあたって、それを徹底的に解いていくことに頑張ります。問題はワークや他の問題集などを使います。
授業で使うノートに問題がのっている教科もあるので、その教科はノートの問題もやっていきます。

まず、教科書の太字になっている部分を中心に勉強し、それを毎日ノートに書いていきます。また、テスト勉強用のノートを作って、それに重要語句や単語や漢字を何回も書いて覚えていきます。
そしてその後、ワークなどの問題を毎日ノートに解いていきます。間違いやすい問題は何回もやって分かるようにしていきます。